

令和5年6月14日（水曜日）

予算決算委員会厚生分科会

第3委員会室

出席委員

中西祥子、金内義和、阿野れい子、仁野央子、
萩原唯典、岡部敦吏、牧野圭輔

欠席委員

三輪敏之、竹中隆一

【厚生委員会（市民局）の審査】

開会

11時44分

市民局

11時44分

送付議案説明

・議案第53号 令和5年度姫路市一般会計補正予算（第2回）

質疑

質問なし

11時45分

市民局終了

11時46分

【厚生委員会（環境局）の審査】

【厚生委員会（健康福祉局）の審査】

健康福祉局

15時52分

送付議案説明

・議案第53号 令和5年度姫路市一般会計補正予算（第2回）

質疑

（質問）

福祉施設等物価高騰特別対策給付金事業費について、これは2回目の支給となるのか。

（答弁）

そうである。

（質問）

サービスの提供形態による施設ごとの給付額についてはどのように算定しているのか。

（答弁）

当該一部施設における価格高騰の影響に係る聞き取りや、光熱費の支払実績調査を踏まえて、本市で独自に給付額を算定している。

（質問）

1回目と同じ基準で実施しているのか。

（答弁）

令和4年9月28日の予算決算委員会で、加算人数の段階の区切り方が30人ごとと大まか過ぎるとの指摘を受けたことから、2回目となる今回は、区切り方を10人刻みと小さめにしている。

（質問）

1回目の支給額に上限額は設定していなかったのか。

（答弁）

上限は設定していない。定員数に応じて計算している。

（質問）

前回の予算決算委員会で出た意見を基に、より実態に合うような形で対応したということか。

（答弁）

そうである。指摘を踏まえた上で対応したものである。

（質問）

同事業費は、国からの地方創生臨時交付金のほかに、一般財源からも同交付金の3分の1程度支出しているが、支給に際し、本市独自で加算しているものがあるのか。

（答弁）

本市の中で、同交付金のメニュー内で実施したい事業が幾つかあり、同事業に対しては按分した予算が割り当てられている。同事業の給付に当たり不足する額を一般会計予算から支出している。

（質問）

市の支出額が、同交付金の約3分の1となっているが、何か意味のあることではなく、偶然なのか。

（答弁）

そのとおりである。

（質問）

このような給付金の支給については、物価高騰のスピードに追いつかず、後追いで支給するため、どうしても現場では給付金が不足しているような感覚があるのでないかと思う。

今後、国が、介護保険や障害福祉施設に対する給付費等の金額を高く設定するような可能性はないのか。

(答弁)
現在のところ、聞いていない。

(質問)
このような給付金の支給で対応するような流れが、今後も継続するのか。

(答弁)
当分継続すると考えている。

給付が物価高騰の後追いになってしまうという指摘については、少しでも早く給付できるように取り組んでいきたい。

(要望)
本事業は、急激な物価高騰に後追いする形で実施するものであることから、当該施設等の実情を十分に踏まえて迅速に対応されたい。

(質問)
新型コロナウイルスワクチン接種事業について、令和5年秋開始接種の対象者として、初回接種(1・2回目接種)を完了し、前回接種から3か月以上経過した5歳以上の全ての人で、想定される接種人数が約20万9,000人とあるが、ワクチン接種について現在どのような状況になっているのか。

(答弁)
現在、令和5年5月8日から令和5年春開始接種を実施している。

令和4年度の秋からオミクロン株対応ワクチン接種を実施しており、接種率としては市民全体の39.62%、約21万人の方が接種している。うち65歳以上が74.6%で、10万7,200人程度が接種している。

令和5年秋開始接種の対象者数は、令和4年度秋接種のオミクロン株対応ワクチンを接種した人が再度接種すると想定して、20万9,000人と計上している。

(質問)
オミクロン株対応ワクチン接種を受けた39.62%の人の年代別の接種率はどのようになっているのか。

(答弁)
令和5年6月12日現在、12～19歳が18%、20代が20%、30代が22%、40代が28%、50代が44%、60～64歳が59%、65～69歳が65%、70代が75%、80代が81%、90代が79%となっている。

(要望)
65歳以上の高齢者が65%以上既に接種を受けてい

るなど、これまでの蓄積もあり混乱もないかと思うが、接種希望者がスムーズに接種できるよう対応してもらいたい。

(質問)
接種後3か月以上経過していたら、今までの接種回数に関係なく、次回の予防接種を受けたい人は受けてもらったらいよいよということなのか。

(答弁)
そうである。

(質問)
使用するワクチンの種類が不明となっているが、どのように考えているのか。

(答弁)
現在、国で検討中であるが、令和5年6月16日に開催が予定されている国の厚生科学審議会(予防接種・ワクチン分科会)で、現在、流行株の主流になりつつあるXBB.1系統のワクチンの接種について審議される予定であると報道があった。

(質問)
個別接種促進支援事業について、令和4年度までは県が事業主体であったものを市で実施するということであるが、今回、同事業実施に関して病院は対象外となっているのはなぜか。

(答弁)
令和4年度までは感染症拡大の中で、短期間に集中的により多くの人にワクチン接種する必要があるため、大きな病院での接種を促進していた。

しかし、現在はそのような状況ではなく、病院は対象外として、一般の診療所レベルで幅広く接種してもらおうという流れに変わっている。

健康福祉局終了 **16時16分**

【厚生委員会(健康福祉局)の再審査】

【厚生委員会の意見取りまとめ】

意見取りまとめ **16時22分**

・分科会長報告について
正副分科会長に一任することに決定

意見取りまとめ終了 **16時23分**

閉会 **16時23分**